

# 児童発達支援よろずえクラブ支援プログラム

作成日 2024年10月21日

法人理念	障害児者のライフステージに応じた「学ぶ」「働く」「暮らす」「楽しむ」を支援する。		
支援方針	将来社会の中で生きる事を念頭に、人に寄り添って生きる構えを身につける事を目指します。そのため、どのプログラムにおいても、まずは「やりとり」が成立する事を第1目標に支援していきます。		
営業時間	10:00～17:30	送迎実施の有無	有り（幸区・川崎区・鶴見区）

プログラム	支援内容（5領域との関係性）	※
集会活動	・ 始めの会、終わりの会：リーダーの質問（挨拶、点呼、Q & A）に応えたり、動作模倣を行ったりします。着席行動の確立、注視注目の持続などが課題です。 ・ リトミック的な活動や、準備運動なども行います。	①、②、③、④、⑤
室内運動	・ マット運動（個別の運動）：「やりとり」を重視しながら、自分の身体と向き合い、ボディイメージや柔軟性を高めていきます。 ・ サーキット（集団での運動）：六つ這い・高這い・座位這い等の「基本動作」、ハードル（跨ぐ、飛び越える）、平均台、岩飛び等を組み合わせたサーキットトレーニングで、身体の使い方を学びます。また、待機時には、所定の場所で、見本や友達の演技を見る練習をします。	①、②、③、④、⑤
戸外歩行	主に多摩川沿いのコースや緑道を歩行します。隊列になって、友達や先生とペースを合わせて歩くことにより、「ユアペース」の確立を目指します。また、適切なペースで適切な距離を歩くことにより、脳の活性化を目指す他、交通ルールの理解にも努めます。	①、②、③、⑤
机上課題	・ 概念学習：独自のアセスメントに基づいた認知学習により、概念の深化を図ります。 ・ 書字学習：目と手の協応を企図した2点結び、実線なぞりを経て、模写、書字へと繋げていきます。 ・ 作業学習：様々な作業課題に取り組む事で巧緻性の向上を図り、A D Lの強化、就労へと繋げていきます。	①、②、③、④、⑤
余暇支援活動	ダンス（第1木曜）、アトリエ（第2木曜）、ソーイング（第4木曜）、ハンドメイド（第2月曜）、エクササイズ（第4月曜）、作って遊ぼう（第3水曜）などの教室活動や、バスケットや座布団取り、ボトル積み競争などのゲーム的活動などに、示されたルールに従って参加します。現在の活動を楽しむ事以上に、将来余暇を楽しむ基礎を作ることを目指しています。	①、②、③、④、⑤
共同作業	全員で車座になり、順番に袋に自分の担当の部材を封入していきます。指示書を読んだのストロー封入や、割りばしの輪ゴム止め等、個別の作業課題で培った能力を活かして、それぞれに課題に合った部材を封入していきます。また、周りのお友達のペースに合わせて作業をする練習も兼ねています。	①、②、③、④、⑤
御用学習	個別の学習とは異なり、全員参加で、それぞれの認知課題に取り組みます。個別の学習で培った能力を、日常生活に汎化させていくスモールステップとして実施しています。	①、②、③、④、⑤
A D L 支援	トイレトレーニングを始め、食事、更衣・整容・寒暖調節、持ち物管理など、それぞれの課題に合わせて支援していきます。	①、⑤

※5領域との関係性（①健康・生活、②運動・感覚、③認知・行動、④言語・コミュニケーション、⑤人間関係、社会性）

家族支援	・ A D Lを中心に、ご家庭と支援方法を共有して、課題解決に取り組めます。状況に応じて支援方法の提案・サポートを行います。 ・ 送迎時や、よろずえ通信を通して活動内容の共有を行い、随時相談援助を実施します。
移行支援	・ 同一法人、同一敷地内にある、生活介護事業所まんなる社と連携し、支援方法や作業内容の共有をして、将来の就労を目指します。
地域支援・地域連携	・ 同一敷地内のコミュニティカフェ「ぶちまる」を地域交流の場として活用します。 ・ 地域の放課後等デイサービス事業所と連携し、情報共有や事業所公開等の行事を行います。
職員の質の向上	・ 週1回、勉強会を実施しています。（ケーススタディや、療育技法の研修など）
主な行事等	・ 年1回の鎌倉遠足、親子運動会 ・ アトリエ、ダンス、エクササイズ、ソーイング、ハンドメイド、ふたばクラブ等毎月1回ずつ開催